スーパーマップル・デジタル
「顧客や施設情報」の取込み＆応用編

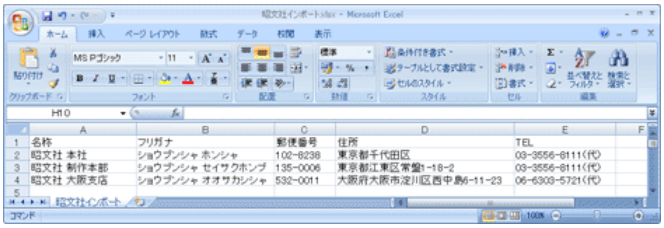
2020年5月末日現在

CONTENTS

顧客や施設情報などの取り込み基本構成

【テキスト情報への取り込みとは】

施設管理、顧客管理、販売管理などの住所を含む情報を**CSV形式**、または **テキスト形式にする事で**、スーパーマップル・デジタル上にカスタム情報として取り込み、位置を表示する事ができます。

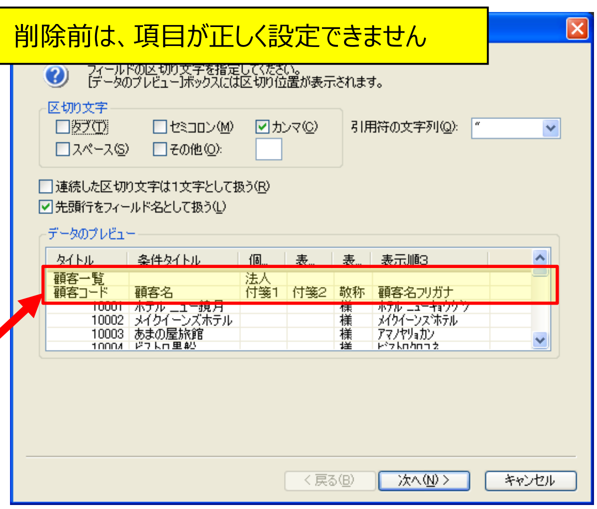


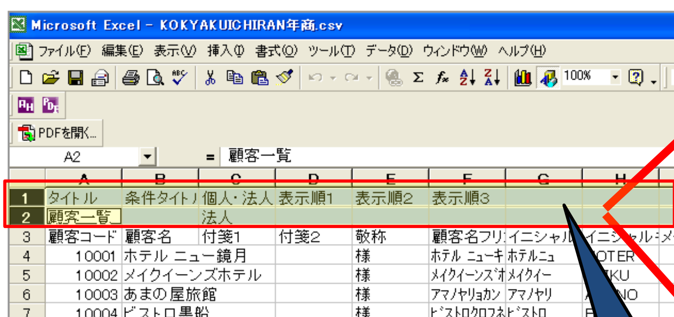


【取り込み前の確認事項】

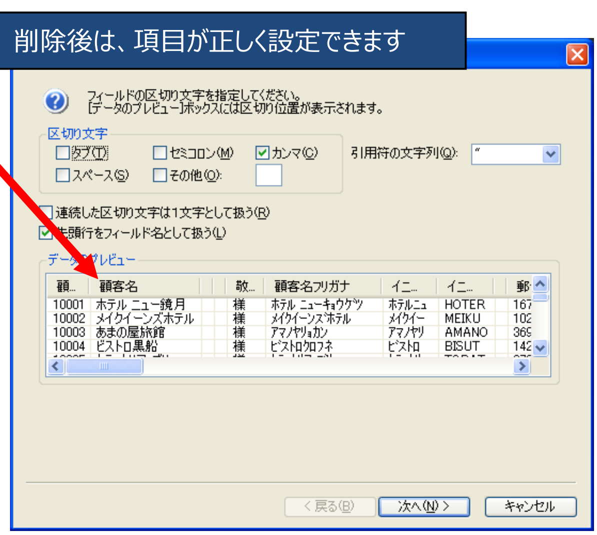
※ 表の1行目は必要な項目名に設定して下さい。

項目設定時のポイント
<u>地図上に表示しない、不要な行は削除してください。</u>
この場合は、上の2行が不要、3行目が必要な項目になります。





削除し
正しく設定

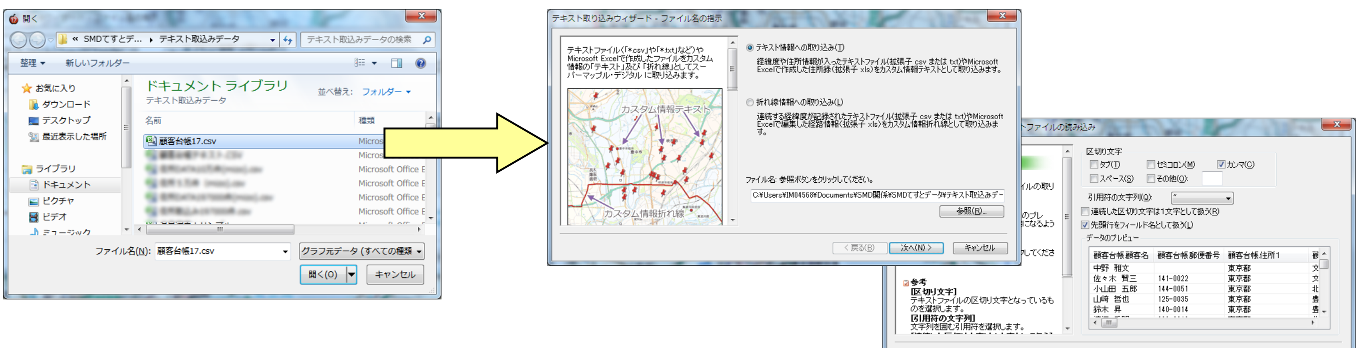


A：テキスト情報への取り込み方法

① 「取込」タブの「テキスト」をクリックし、「テキスト情報への取り込み」を選択します。

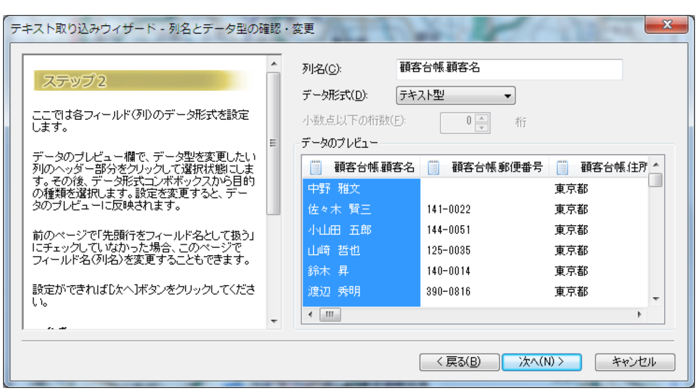


② 該当のファイルを選択し［開く］→［次へ］をクリックすると、データが取り込まれます。

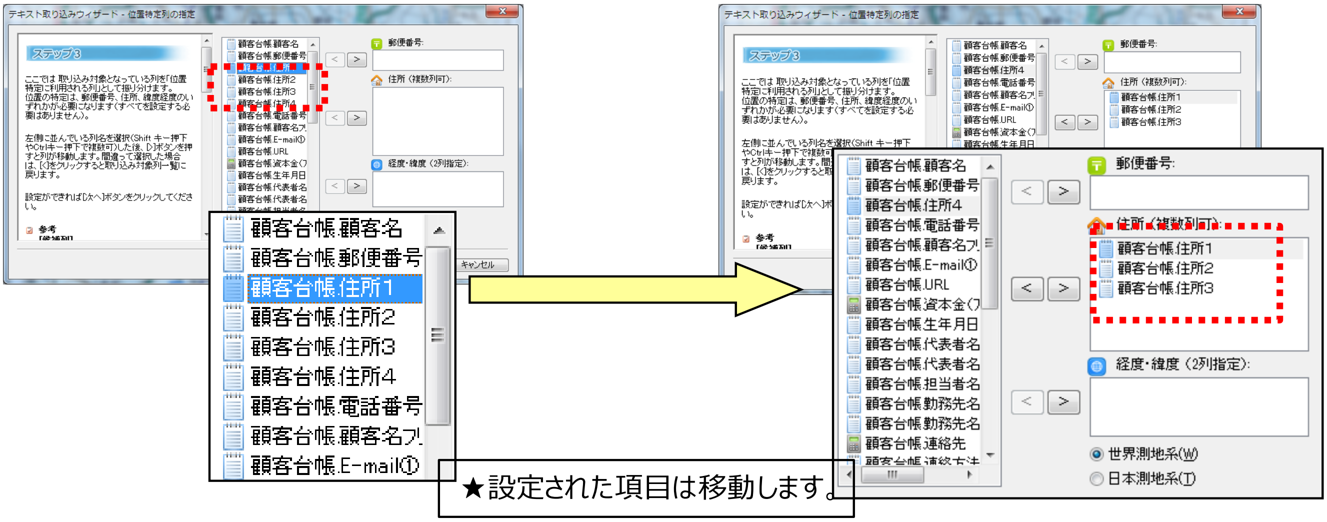


★[先頭行をフィールド名として扱う]の意味は
　先頭行をフィールド名（項目名）として取り込みます。
　先頭にフィールド名が無い場合は、自動的にフィールド番号が付与されます。
・「区切り文字」が不明の場合、プレビュー画面を見ながら設定してください。

③［ステップ2］は、各列（項目名）のデータ形式の確認をします。

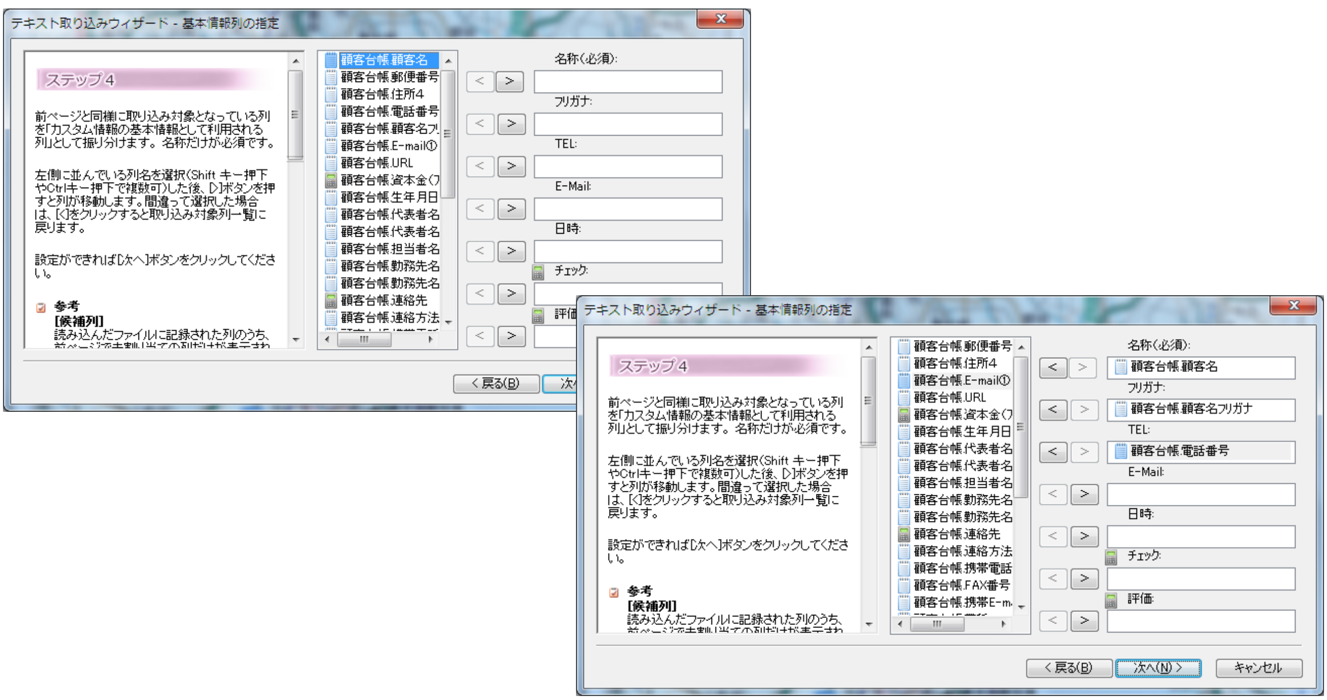


④［ステップ3］は、表示位置を特定する、「郵便番号」「住所」「経度・緯度」で設定します（「住所での例」です）。



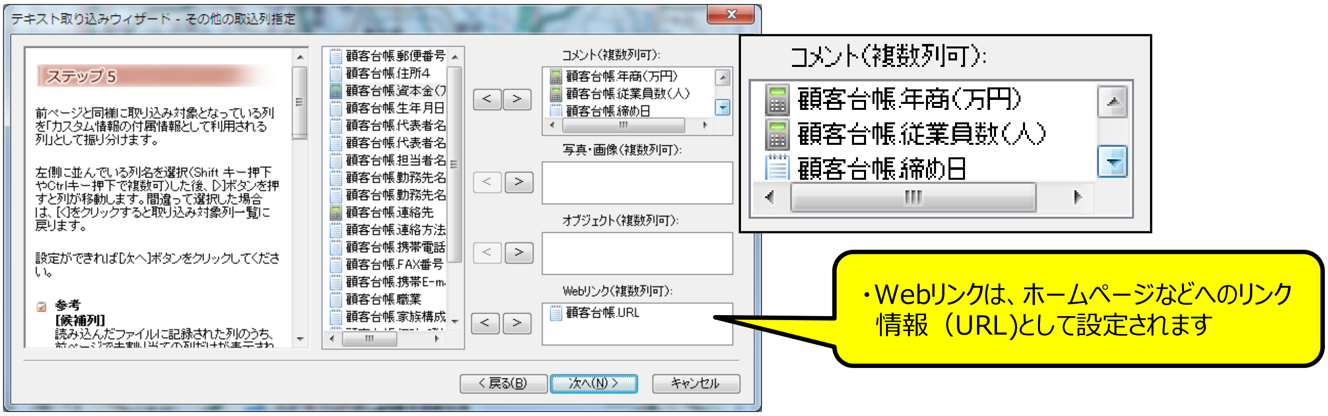
【 重要】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

⑤［ステップ4］は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します。

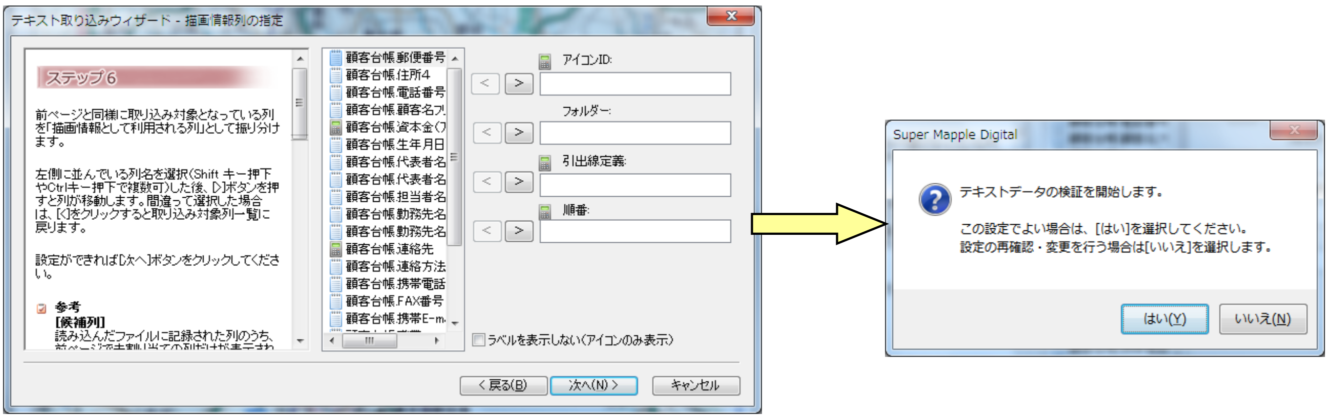


★取り込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の 画面で「コメント」欄で取り込みます。

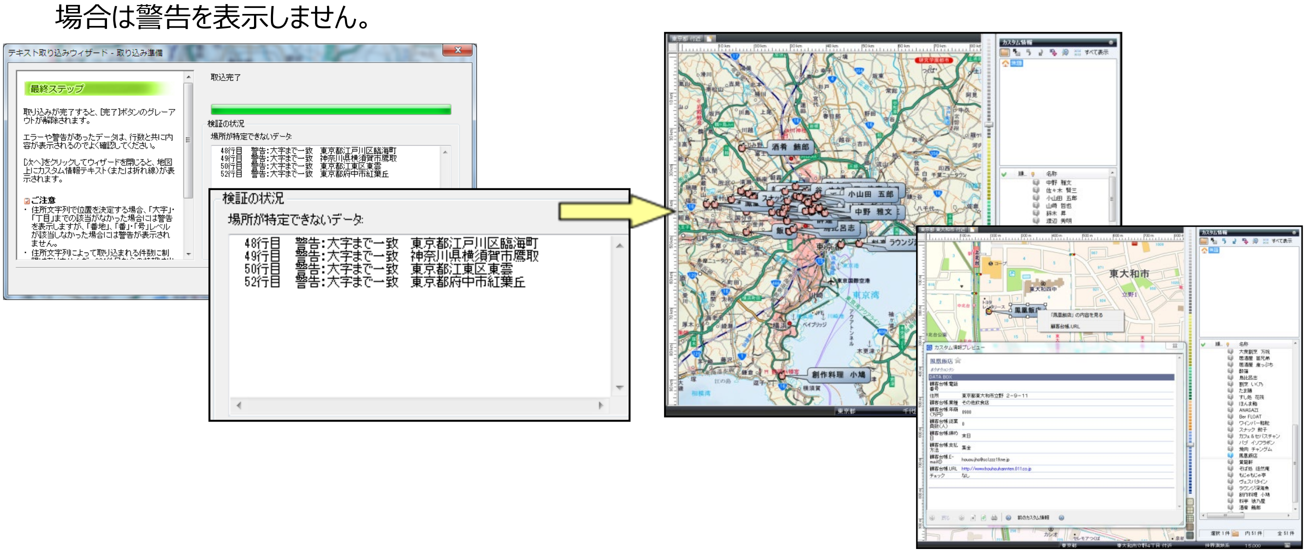
⑥［ステップ５］は、「取り込み」欄にない項目を「コメント」欄に取込みます。複数の項目を取り込むことができます。



⑦［ステップ６］は、スーパーマップル・デジタルで作成した情報をCSV出力した情報を、取り込む時に使用します。
「次へ」をクリックしますと、テキストデータを検証し、取り込みを開始します。



⑧［最終ステップ］は、取り込み後の状況を表示します。
・「大字」「市区町村」までしか一致しなかった場合には警告を表示しますが、「番地」・「号」レベルまで一致した場合は警告を表示しません。

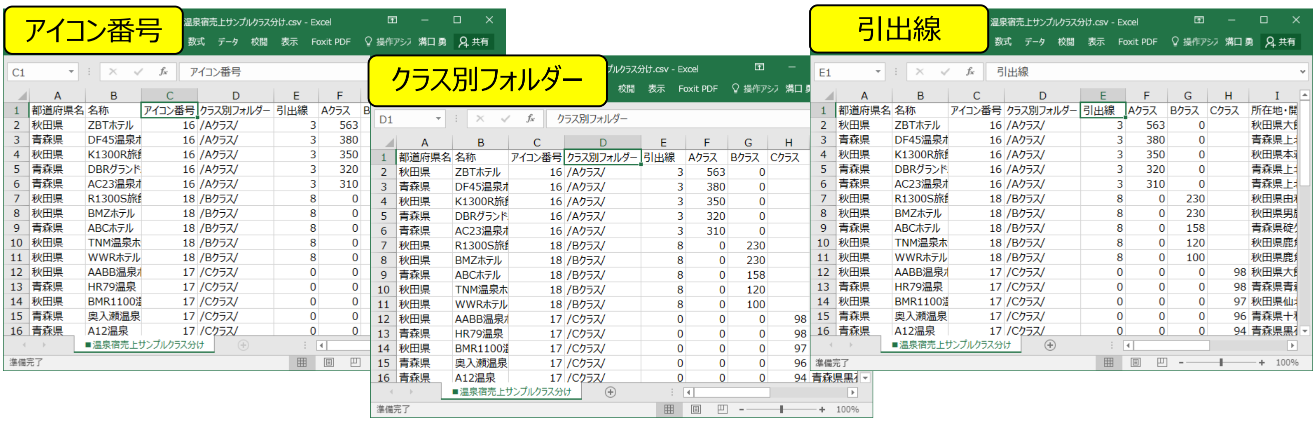


・東京都や大阪市などの政令指定都市や、その他の県などは、その土地の住所体系が違うため、若干警告の表示内容が違いますのでご了承ください。

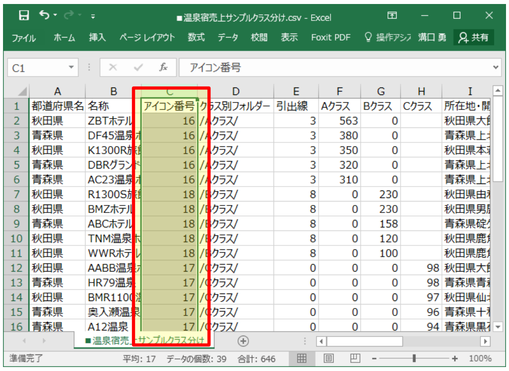
【テキストデータ取込の応用編】
Excelで加工すると取込み時にフォルダ―整理ができます

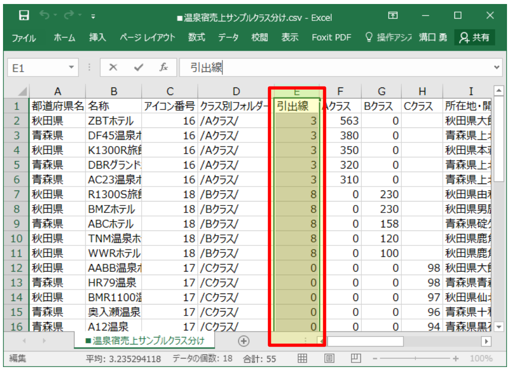
B：フォルダー別、アイコン別表示するためExcelでCSV形式のデータを加工します。

① データの「列」に「アイコン番号」「クラス別フォルダー」「引出線」の項目を追加してください。
　※項目名は、Excel表の**1行目**に設定します。

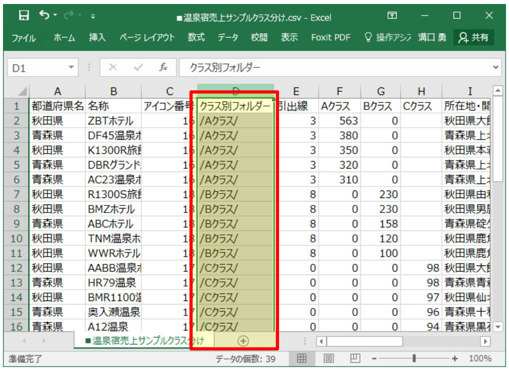


② 「アイコン番号」と「引出線」の項目には、スーパーマップルで各クラス別に表示させたいデザインの「アイコン番号」や「引出線」を「半角数字」（次ページ参照）で入力してください。





③ 「クラス別フォルダー」項目に、値が振り分けられているクラスごとに、「/Aクラス/」「/Bクラス/」「/Cクラス/」のように半角スラッシュで囲まれたデータを入力します。



☆参考：
フォルダーとして入力するデータは「/Aクラス/」のように半角スラッシュで文字を囲んで入力します。

<u>/(半角)</u>○○○（クラス分けする名称）<u>/(半角)</u>

★「アイコン番号」は下記のようになっています。

既定のアイコン表



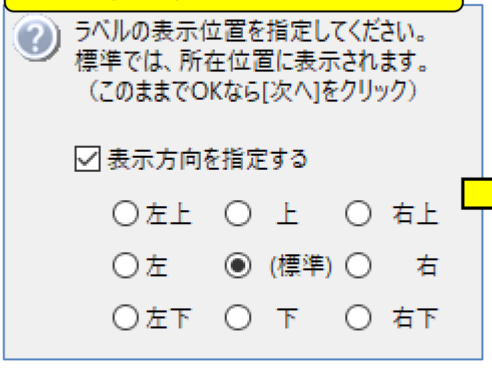
アイコン対応番号表

0	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31
32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47
48	49	50	51	52	53	54	55
56	57	58	59	60	61	62	63
64	65	66	67	68	69	70	71
72	73	74	75	76	77	78	79

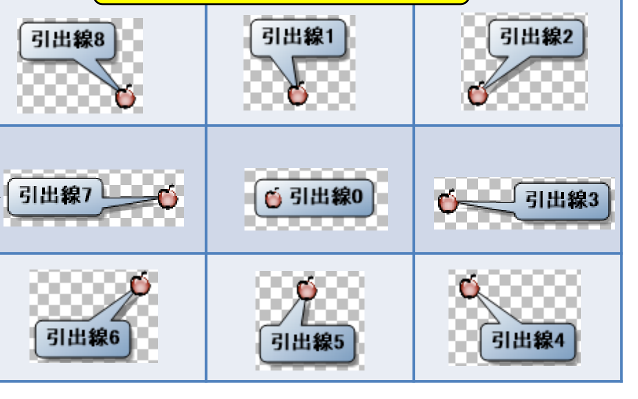
例えば「Aクラス」に「青色の丸」を表示させたい場合は、「16」を、「Bクラス」を「黄色の丸」で表示したい場合は「18」を、Cクラスを「赤色の丸」で表示させたい場合は「17」を記載します。

★「引出線設定」は下記のようになっています。

ラベル(名称)の表示位置の選択表



引出線角度の対応番号表

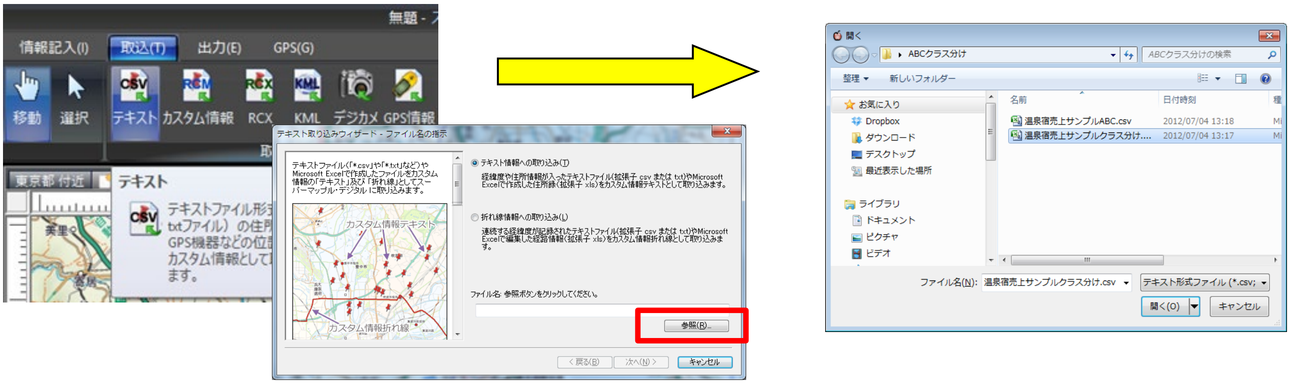


データ「取込み」結果

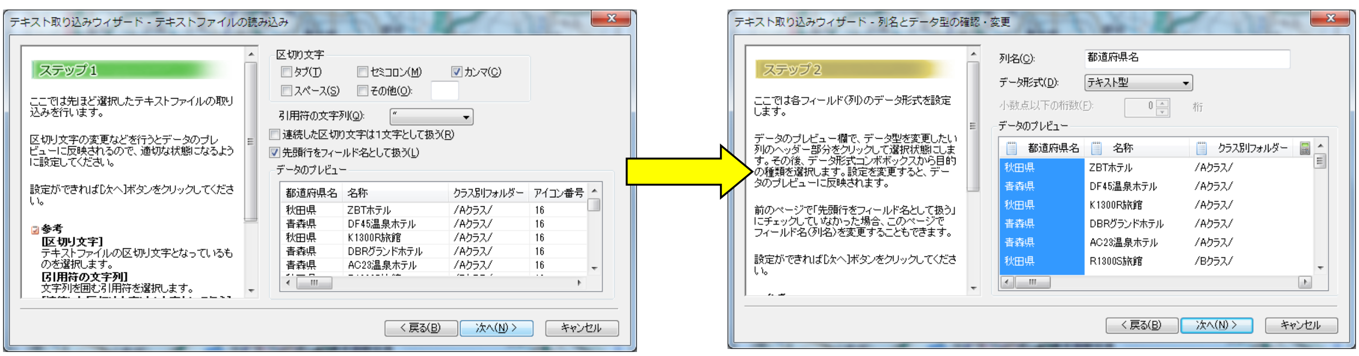


C ： クラス分けしたデータを地図上にフォルダー別、アイコン別に表示します。

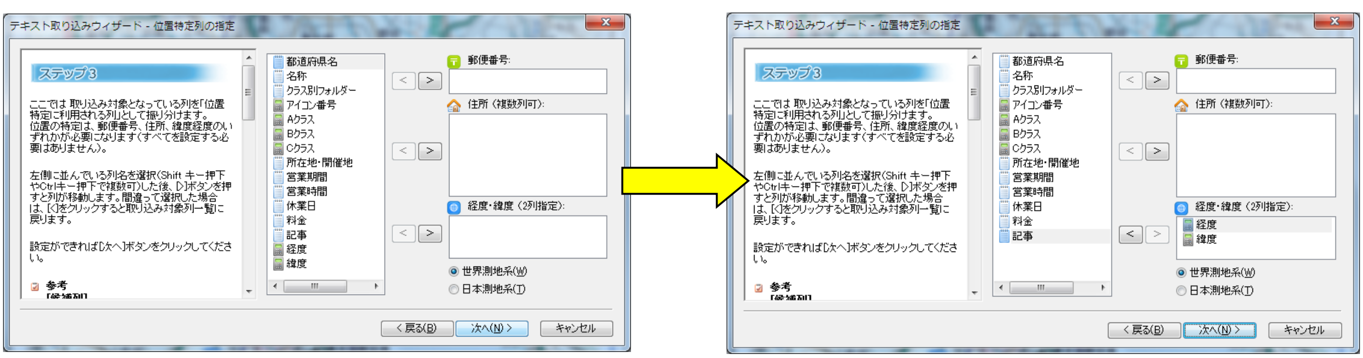
① スーパーマップル・デジタルを起動し、「取込」タブの「テキスト」をクリックし、P3ページの①②を参考に「参照」をクリックし、地図に表示するため「クラス分け」するデータファイルを選び「開く」→「次へ」をクリックします。



② ［ステップ1］の「データのプレビュー」で追加した項目名「フォルダー」「アイコンID」「引出線」が、データプレビューの最上位の項目に表示されているかを確認し「次へ」。
［ステップ2］では、各列（項目名）のデータ形式を確認します。

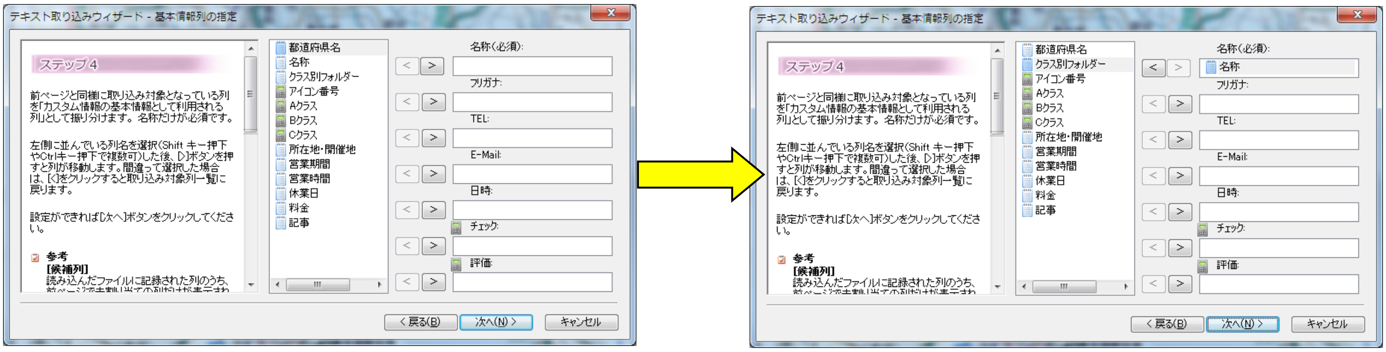


③ ［ステップ3］は、表示位置を特定する「郵便番号」「住所」「経度・緯度」で設定します。（「経度緯度での例」です。）



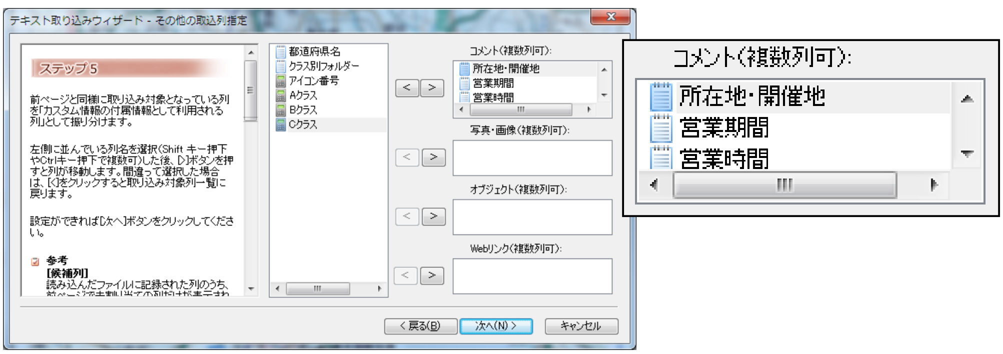
【 **重要**】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

④［ステップ4］は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します。



★取り込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の 画面で「コメント」欄で取り込みます。

⑤［ステップ５］は、「取込欄」にない項目を「コメント」欄に取込みます。複数の項目を取り込むことができます。

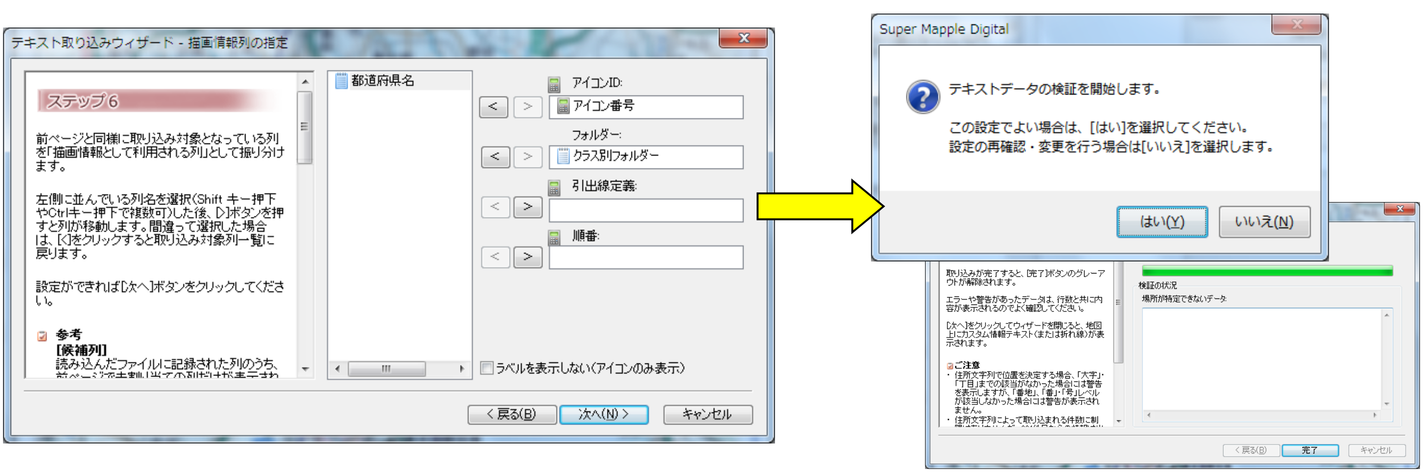


⑥［ステップ６］は、Excelで加工した情報を取り込みます。

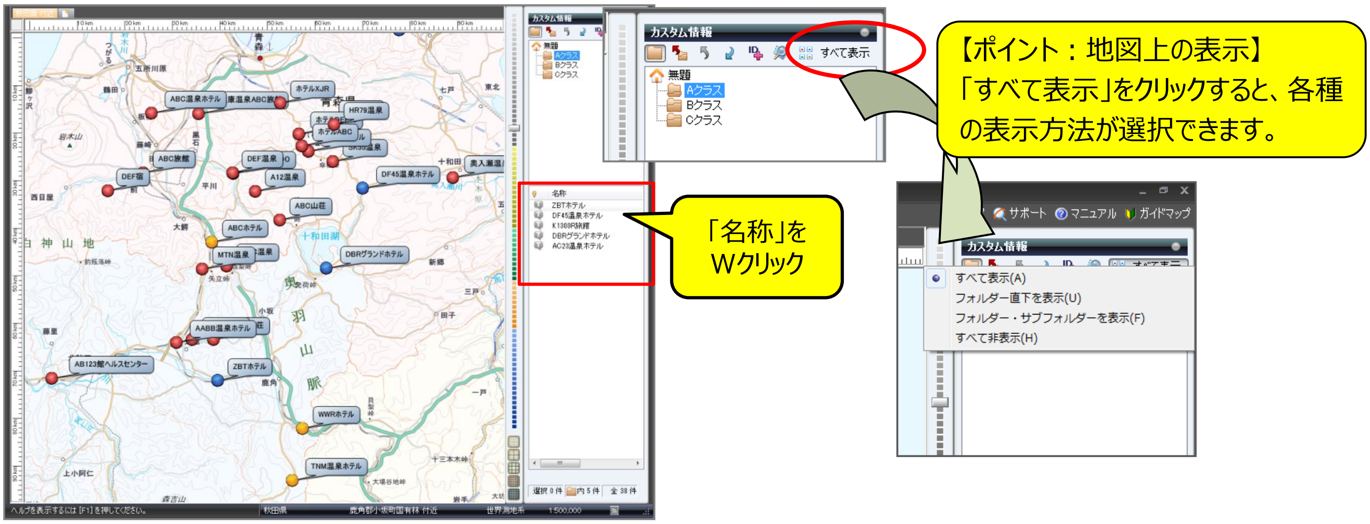
・「アイコン番号」を「アイコンID」へ

・「クラス別フォルダー」を「フォルダー」へ

「次へ」→「はい」をクリックしますと、テキストデータを検証し、取り込みを開始します。「完了」をクリックします。

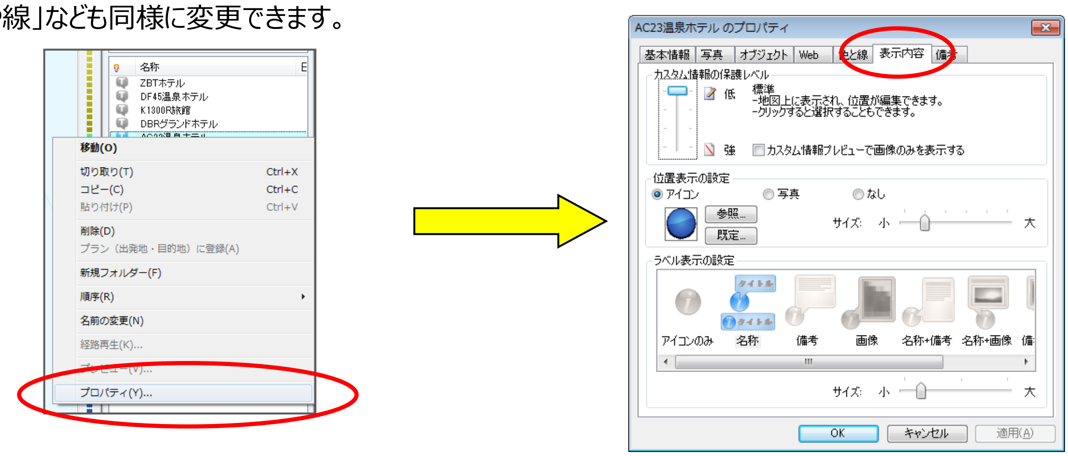


⑦ 地図上にABCクラス別が表示されます。
・画面に表示されていない場合は、カスタム情報欄の「名称」をWクリックしますと、地図が移動します。

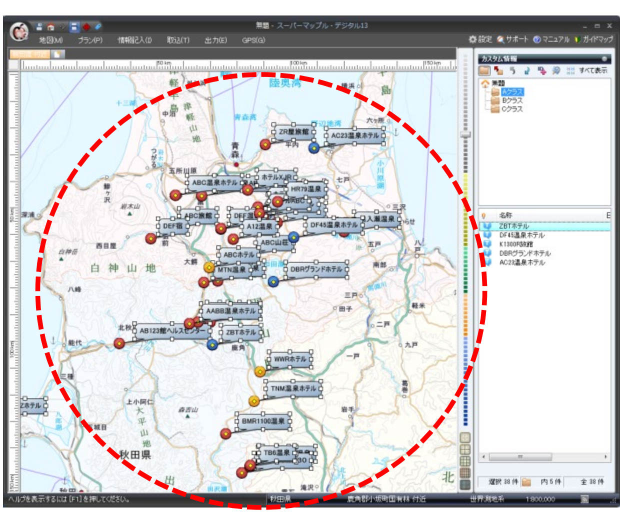


D： データ表示変更の方法

① 「情報記入」タブで「選択」モード  に切り替え、地図上の表示変更したい「名称」の上で、「右クリック」し「プロパティ」を選択します。
「表示内容」タブを選択するとアイコンの大きさや、ラベル（名称）の大きさや表示内容などを変更することができます。
「色や線」なども同様に変更できます。



② 一括で表示変更する場合は、「名称」をクリックした後、その名称の上で「Ctrl＋A」を押すと一括選択されるので、右クリックし「プロパティ」を開き変更を行ってください。



以上